

浜益の教育環境を考えるワークショップ特集

今回の地域協議会だよりでは、4/25に開催した
「浜益の教育環境を考えるワークショップ」の実施状況を特集してお知らせいたします。

○市からの情報提供（主な内容）

（1）浜益区の教育環境の現状について （市教育委員会 安崎克仁部長）

- ・令和3年度の浜益中学校の教員数は生徒数、普通学級数の減が響き減少したが、加配教員が認められたことや浜益に来ていただける時間講師が見つかったこと、市の再任用職員を事務職員として派遣することで、幸いにも昨年と遜色ない学校運営が可能となった。しかし、加配や時間講師がいつまでも続く保証はない。
- ・浜益小学校の校舎は、老朽化が進み改修の優先度は高くなっているが、防災の観点から立地に課題があり、改修して使用し続けるのは難しい。
- ・小規模校の課題を克服するため、厚田区では学校統合時に小中一貫校として取り組んだ。
- ・小中一貫校では、子どもたちが多くの人と関わりを持ちながら成長できること、中1ギャップの解消、小中教員の協力で教科担任制や乗入れ授業が可能となるなどのメリットがある。
- ・小規模校の課題克服のため、教育委員会としては浜益も小中一貫の義務教育学校にすることが数ある選択肢の中で最善と考えている。

（2）0歳児保育の実施に向けて （市保健福祉部 大塚隆宣部長）

- ・はまます保育園の園児数は、今後も15名程度で推移すると考えている。
- ・市の基本的な考え方は、石狩市のどこに住んでいても「0歳児保育」が受けられる環境を整えること。
- ・浜益区の0歳児保育実現に向けた課題などの検討を進めてきた。園舎の改修やニーズの把握、災害警戒区域が多いこと、保育士の確保など。また、へき地保育所から小規模保育所に変更となることで保育料が上がるが、激変緩和など一定程度必要と考えている。
- ・0歳児保育をやらなくていいのではという意見には反対した。受け入れる窓口があることが先決だと考えている。
- ・検討の結果、保健福祉部としては新たな施設を整備する方向を目指している。
- ・保育と教育を一体化して、地域で育つ子どもたちに切れ目のない環境を整備することが地域の子育て環境の向上につながると考えている。

- 日時：令和3年4月25日（日）13：00～15：00
- 場所：浜益コミセン・きらり
- 参加人数：43名（A～Gの7グループに分かれて意見交換）
- 進行役：元浜益中学校校長 川村 佳広さん



○市からの情報提供に対する感想・意見（グループワーク①）

Aグループ

- ・概ね小中一貫校で良い。
- ・子供達の未来もあるし、地域の一体感も生まれる。
- ・0歳から100歳まで、地域一丸となって子供達の教育に携われたら良い。

Cグループ

- ・小中保育を含めた方向性は良い。
- ・小学校の老朽化の実態に驚いた。早期に進めてもらいたい。
- ・子供達が安心安全で教育を受ける環境を早期に実現してほしい。
- ・今も中学校の先生が小学校で体育を教えている、子供達も喜びいきいき取り組んでいる。相互乗り入れ、人材の活用という面でも大きなメリットがあると思う。

Eグループ

- ・危機感や限界感を感じた。
- ・一貫教育のデメリットはあるのだろうか。
- ・保育園からエスカレーター式であれば子どもの不安もなくなる。
- ・大人が子どもを見る機会が少なくなっている。
- ・小規模で家族的な環境があるのは浜益の良いところ。そういった環境を伸ばしていくことからも一貫教育が必要。

Gグループ

- ・小学校は校舎が古いことや避難場所が摺鉢山となっていて非常に不安。
- ・乳幼児保育から義務教育期間までの取り組みを一刻も早く進めてほしい。
- ・教員数が少ないことによる学力の低下が拭い去れない。
- ・厚田学園の浜益バージョン的な話し合いで一刻も早く進めてほしい。

Bグループ

- ・厚田方式が良い。
- ・建設場所の心配、改修するのか新築するのか。
- ・小中一貫のデメリットも聞きたい。
- ・先行している厚田からの意見を聞きたい。
- ・保護者と子供の意見を重視して進めてもらいたい。

Dグループ

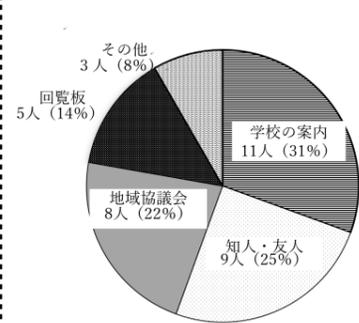
- ・0歳児保育、母親も貴重な働き手なのでやった方が良い。
- ・教員住宅が家族向けではなく、単身赴任では浜益に来づらいという話があった。
- ・新築するのか、統合して小学校か中学校に持っていくのか。
- ・先生の人数や配置に関することなどに関心が高かった。

Fグループ

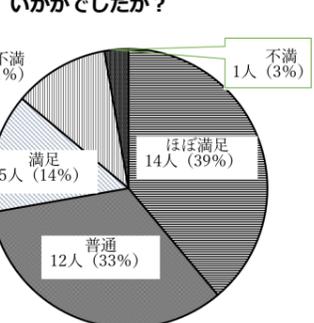
- ・賛成、ぜひ話を進めてほしい。
- ・今の浜中は古いのでリフォームよりも新築でお願いしたい。
- ・場所は中学校グラウンド、高台の場所が良いのでは。
- ・今の古い校舎を解体して陸上競技ができるグラウンドにしては。
- ・メリットだけではなくデメリットがあるのであれば教えてほしい。
- ・要望として、実現可能であれば通信制の高校も置いてはどうか。
- ・保育の要望では、預かり保育や小学生を預けれる学童保育もあればありがたい。

○参加者アンケートの結果（回答数36名・回答率約84%）

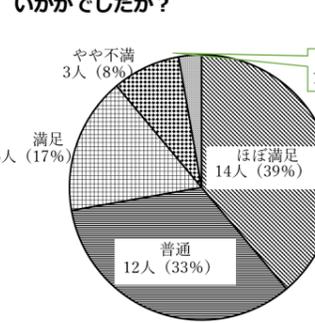
問1.このワークショップを何で知りましたか？



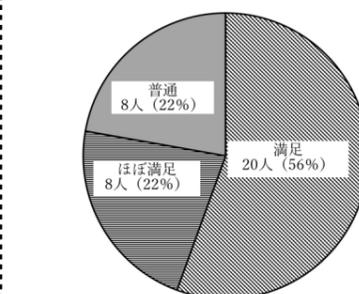
問2.教育委員会からの情報提供はいかがでしたか？



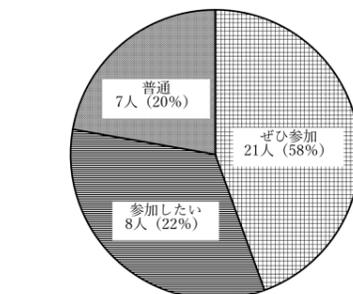
問3.保健福祉部からの情報提供はいかがでしたか？



問4.グループに分かれて意見交換はいかがでしたか？



問5.今後もこのようなワークショップに参加してみたいですか？



○今回のワークショップで一番印象に残ったことは何ですか？

子供のいる若い父母の参加が多く感心を持っていることが良かった！

地域の大事な財産、30年先をみて新築を望む

生徒から園児の少なさ

浜益区全体を考えると大切だと思いました。

現役の教師の方からの意見が聞けた事です。

沢山の人の意見が市に要望できるので良かった。

皆それぞれ考えていることがあるのに発表の場、話し合う場がなかったなど強く感じた。

厚田学園みたいな小中一貫校にする事と保育園も小中一貫校に仲間入りする事にとっても同感を得た。

子どものいる世代から地域の方まで幅広く参加していた。みんな関心があるんだと感じた。

学園校舎が、改築での方向との印象で残念

休日にもかかわらず、保護者以外でも多くの方の参加があったこと。地域の教育や学校に寄せる期待の高さだと思います。

色々な世代の方々が参加されていてとても良かったです。

新校舎は、新築にした方がいいと思うこと！

年齢によって地域、学校への思いや意見が色々聞けて良かった。

○「こんな学校、あったらいいね。」（グループワーク②）

Aグループ

- ・0歳から100歳までが関われる学校。
- ・教育を起点に地域の方々が色々な関わりを持って、子供たちをバックアップできる学校。
- ・運動会や学祭など地域の人が全員参加できるイベント、子供がいない区民も参加できる学校行事。
- ・100m走のコースが取れるようにする。
- ・現校舎裏の畑の方に新校舎を作り、現校舎と渡り廊下をつないでどうか。
- ・中学校から海が眺められるビュースポットがある。展望台を作ってはどうか。

Bグループ

- ・スクールバス、夏は家の前まで来るが冬は来ない。逆では？また一般の人の利便性も高められたら良い。
- ・陸上100m走のコースが取れるか心配。
- ・学童保育の充実も含めたら良い。
- ・地域の文化や風土をもっと学ぶ機会があつて良い。
- ・浜益オリジナルのキャリア教育を広げていきたい。
- ・浜益で活動する大学生や動物・昆虫を調査する研究者が増えている。そういった人との学びの機会が作れば良い。
- ・「小中公」この公は公民館とかコミセンという意味で、そういった要素が学校にあつたら地域の人が入りやすいのでは。

Cグループ

- ・少人数だからこそ、子ども達のきらりと光る部分を伸ばしてあげる教育を目指すべき。
- ・丘の上のグラウンドに保小中の統合した校舎を作り、今の校舎は解体してその敷地をグラウンドにしてはどうか。
- ・浜益で団体競技は難しいので、陸上のように個人の能力を引き出すことができるグラウンドの充実を図る。
- ・今いる子ども達もちろん大事であるが、外から子ども達が来れるような施策も必要ではないか。
- ・昨年から話しをしてきた「山村留学」を地域ぐるみ、地域密着で取り組んでどうか。
- ・外から人を呼ぶための住まいとして、新しい統合施設に寮を併設すれば子どもだけでも来れる。寮母さんのような雇用も生まれるのでは。
- ・浜益150周年で遊具と築山が計画されているが、予算の有効活用のため、築山を作るぐらいなら他の遊具にしてほしい。

Dグループ

- ・一時的な生徒数の増加や特別支援学級に対応できるよう、教室の数を多めに用意したり、オープンスペースを用意する。
- ・音楽室や体育館が一つだとカリキュラム編成で課題が生まれるのでは？現場に負担がかからないよう、二つ作る必要があるのでは。
- ・学校は緊急時避難場所として指定される可能性が高いので、建物の高さや設備が必要。
- ・中学校は夕陽が見えるとても良い場所なので残したい。
- ・子育て世代への補助がもう少し充実すると良い。
- ・温かいご飯を子ども達に食べさせたいので給食センターが欲しい。

Eグループ

- ・新築の方が良い。
- ・児童生徒数が減っていくので増築の方がお金かからなくて良い。
- ・新しい校舎を作ることで、パソコン教室や茶道など地域の住民も一緒に参加できるなど、公民館的な要素など利用価値が増えるのであれば新築でも良いのでは。
- ・小さい子どもや足の弱い人のための階段、バリアフリーや高齢者にも優しい建物にしたい。
- ・避難所としての活用。
- ・「学校」という枠にとらわれない施設にしてはどうか
- ・ゲームで遊ぶ子どもも多いようなので、放課後、学校の体育館で遊べるような学童保育、体育施設の充実

Fグループ

- ・学校は新築が良い。新しい学校が建つのであれば厚田学園よりも良い学校にしてほしい。
- ・職員室には歴代の校長やPTA会長が貼ってあるが、浜益の歴史などを展示できるスペースがあつたら良い。
- ・素朴な疑問として校歌はどうなるのか？新しく作る場合は公募が良いのでは。
- ・グラウンドには少しでも遊具があつたら良い。

Gグループ

- ・浜益の学校は、自然環境に恵まれ、学年間や地域との交流がある。これからもこういった学校を残したい。
- ・中学校では休み時間に先生と生徒と一緒に遊んでいる。こういった学校環境も良さの一つ。
- ・現在の浜益小学校5・6年生はオンライン授業で大阪の小学校と様々な情報交換をして、対人関係の構築や生き抜く力、磨き上げる力を養っている。こういった特色ある授業は継続して取り組んでいきたい。
- ・子育て世代への支援として、夏休み期間だけでも良いので、学童保育や一時保育の環境整備を図ってほしい。



■おわりに■

○進行役からのコメント（川村佳広さん）

- ・今日のワークショップは、皆さんから広く意見を聞くための機会なので、今日の意見をもとに、是非、今後の議論を深めていってほしい。
- ・今日の流れでは、できれば新設がいいという意見が多いと感じた。ただ、それで時間がずれ込むとどうなるか、といった色々な議論も始まっていくと思う。
- ・今後、浜益区でも学校運営協議会がスタートすると聞いている。また、この問題はスピード感を持って検討したいという話しも聞いているので、そちらに移してもらっても良いのかと思う。
- ・浜益の教育に留まらず、これからの浜益の人口や産業、働く場所、あるいは文化の継承など話題は多岐にわたったと思う。学校のハード面をいかにデザインするか、ソフト面で地域がどうかかわっていけるかという点が、浜益の大きな力ではないかと思う。

○主催者からのコメント（浜益区地域協議会 会長 宮田 勉）

- ・今回、予想を上回るたくさんの区民の皆さんにご参加いただき感謝いたします。
- ・地域協議会では、この「浜益の教育環境を考える」というとても重要なテーマを、4月に発足した浜益小・中学校運営協議会をはじめ、地域の皆さんと一体となって、スピード感をもって検討を深めていきたいと考えています。検討状況は、様々な機会をとらえてお知らせしてまいります。今後も、区民の皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。

○質疑

（Q）学校建設までの全体のイメージは？

（市）既存の既存の校舎を活かしつつ、保育園と小学校の機能を新たに建てるという方法であれば、最短で、令和4年に基本設計、令和5年に実施設計、令和6年建設、令和7年開校と考えている。全面新築となるとこのようには進まないと思う。

（会場より）私たちの意見を聞く前に、すでに増改築でやるということが決まっているのではないかと